

令和5年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

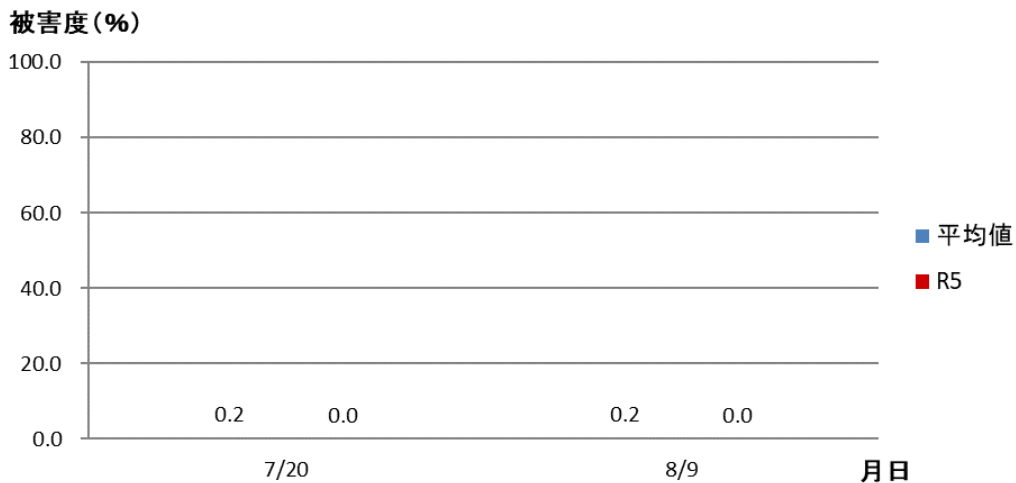
本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第4回）

1) 水戸市の調査結果

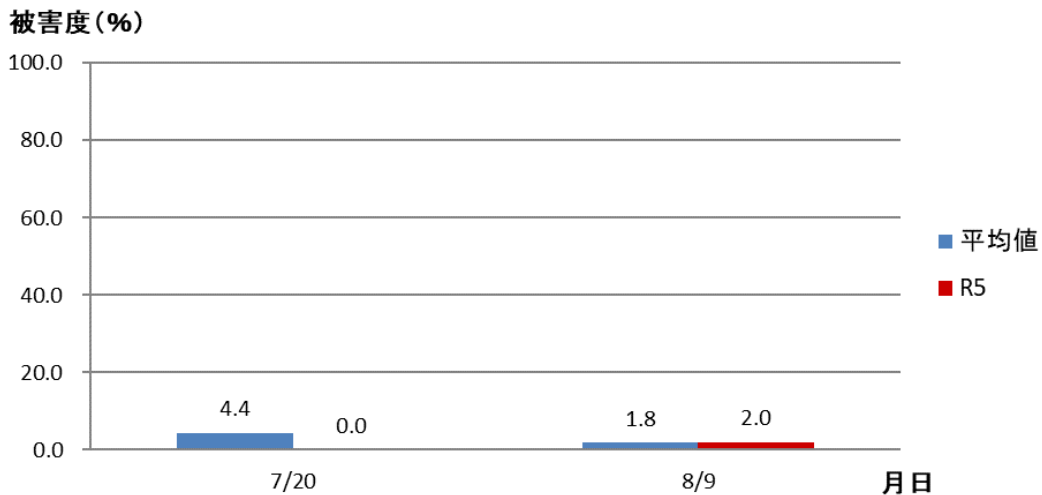
調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月12日	8月5日

カメムシ類



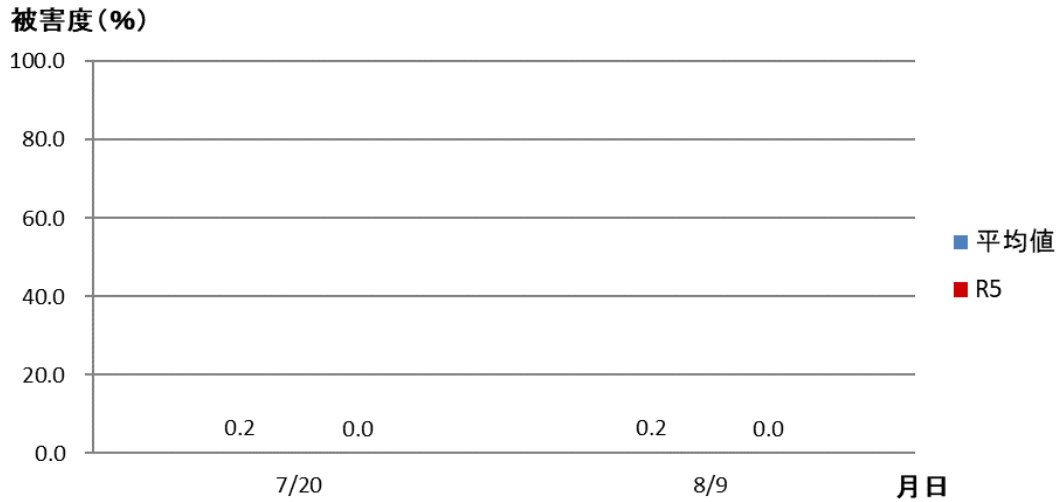
※横軸の月日は調査実施基準日

葉いもち



※横軸の月日は調査実施基準日

紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成30～令和4年の5年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

葉いもち病の発生は少なく、紋枯病、カメムシ類の発生は見られませんでした。

葉いもちは、現在は少発生ですが、今後、上位葉への進展が見られた場合は直ちに防除を行ってください。

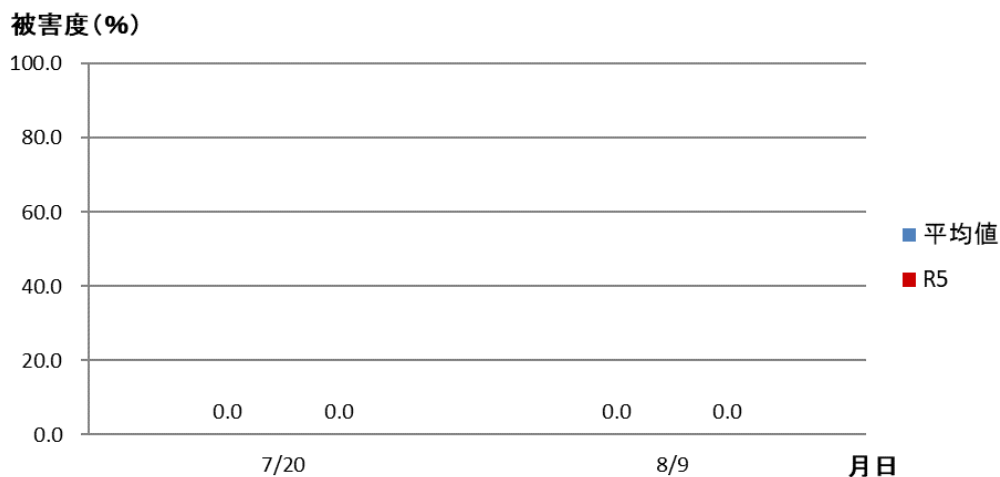
カメムシ類の発生は見られませんが、穂揃期に成虫を確認した場合や出穂後10～15日頃に幼虫を確認した場合には防除を行ってください。

紋枯病の発生は見られませんが、近年、県内における本病の発生及び発病度が増加・重症化の傾向にありますので注意してください。対策としては、株元（水際部）で初期発生が見られたら、幼穂形成期から乳熟期にかけて薬剤防除を行います。

2) 茨城町の調査結果

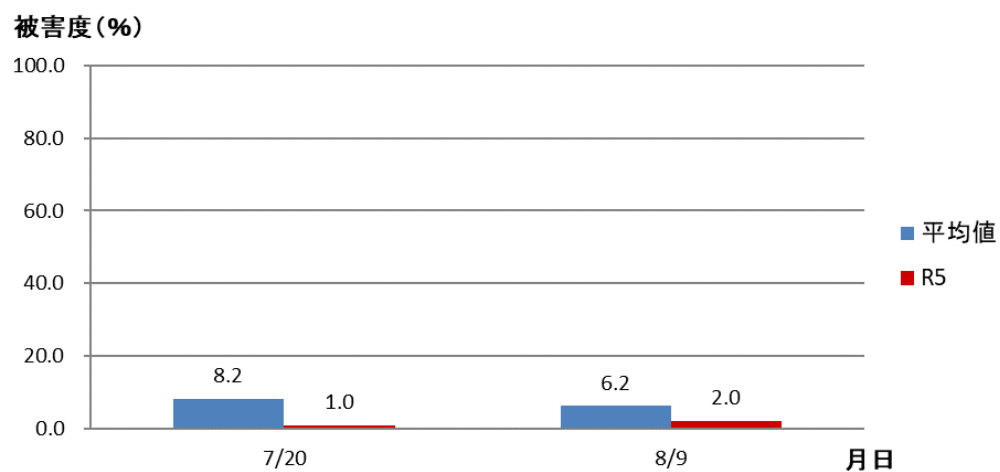
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月13日	8月5日

カメムシ類



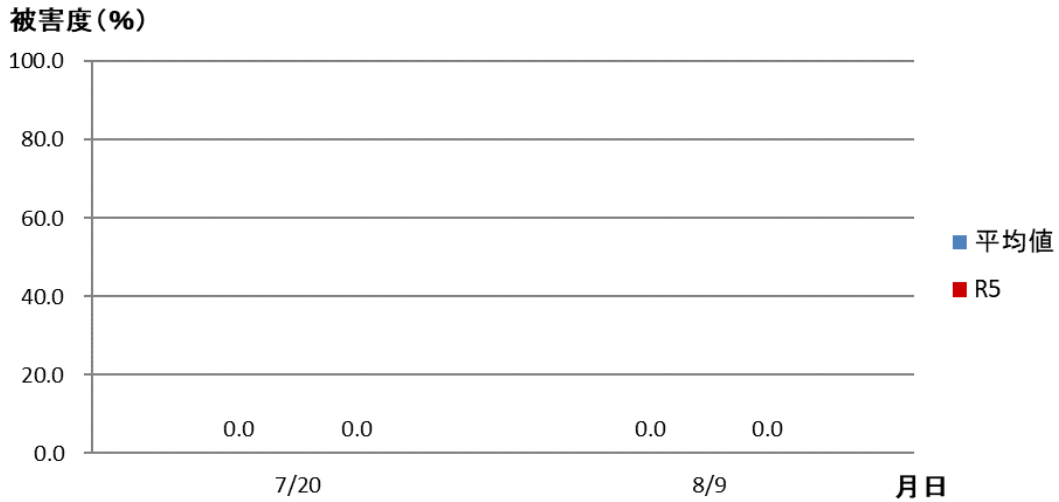
※横軸の月日は調査実施基準日

葉いもち



※横軸の月日は調査実施基準日

紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 30～令和 4 年の 5 年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

葉いもちの発生は少なく、紋枯病、カメムシ類の発生は見られませんでした。

葉いもちは、現在は少発生ですが、今後、上位葉への進展が見られた場合は直ちに防除を行ってください。

カメムシ類の発生は見られませんが、穂揃期に成虫を確認した場合や出穂後 10～15 日頃に幼虫を確認した場合には防除を行ってください。

紋枯病の発生は見られませんが、近年、県内における本病の発生及び発病度が増加・重症化の傾向にありますので注意してください。対策としては、株元（水際部）で初期発生が見られたら、幼穂形成期から乳熟期にかけて薬剤防除を行います。

2. 次回調査予定日

収穫期

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター